

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

### ②施設・事業所情報

名称： 尚花愛児園	種別： 認可保育園
代表者氏名： 園長 兼 理事長 生稻 悦男	定員（利用人数）： 170（160）名
所在地： 223-0053 神奈川県横浜市港北区綱島西2-15-8	
TEL： 045-542-0233	ホームページ： <a href="http://www.shoka-aijien.or.jp/">http://www.shoka-aijien.or.jp/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日	1994年3月1日
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 仁成会
職員数	常勤職員： 26 名      非常勤職員： 10 名
専門職員	保育士 30 名      栄養士 0 名
	看護師 1 名      調理員 0 名
	保育補助・事務 5 名      ↑栄養・調理は委託
施設・設備の概要	居室数 保育室：10室 他14室（※） ※事務所・ホール・和室・休憩室・給食室等 設備等 給食室 給排水設備 音響設備等

### ③理念・基本方針

<p><b>【理念】</b>          ○社会福祉施設としての使命感を持ち、事業の社会的な重要性に鑑み叡智を持って応えていく。          ○高齢化社会、福祉社会を担う、心身共に逞しく心優しい青少年を育成するために情操保育（教育）を基本としている。</p> <p><b>【保育方針】</b>          『明るくバイタリティーのある、思いやりに満ちた豊かな心を持った子どもを育てる』          ー保育をすすめるためにー          *乳幼児の健やかな成長のために保育士・栄養士・看護師が三位一体となって、すべての能力を結集し、保育にあたる。          *園外の保育資源を発掘し、地域の保育力を最大限に活用して豊かな保育を展開する。          *家庭と連携し共通理解の基に子育てを行いながら、保護者に子育ての素晴らしさを再認識してもらう。</p> <p><b>【保育目標】</b>          ○日本の伝統文化や地域の伝承を大切にすると共に異文化に対する興味や関心を持ち、広い視野で物事を見たり考えたりする力を養う。          ○園内外の活動や交流体験を通して、社会性や道徳性（心）の芽生え（基礎）を養うと共に充実感や達成感を味わい、自信へとつなげ、困難を乗り越えようとする強い心を養う。          ○世界的視野にたって自然環境の大切さを理解し、自然を守る心と行動力を養う芽を育てる。</p>
---

④施設・事業所の特徴的な取組

尚花愛児園は、昭和21年開所、平成6年3月に社会福祉法人化された認可保育園です。大きな園庭、ホールに加え、本格的な和室があります。東急東横線「綱島」駅から徒歩7分ほどの位置にあり、近くには自然豊かな公園や鶴見川の土手があり、散歩コースに恵まれています。保育方針に「明るくバイタリティーのある、思いやりに満ちた豊かな心を持った子どもを育てる」を掲げ、保育士、栄養士、看護師が協力して保育を進めています。定員は170名（0～5歳児）です。保育の中で、体操教室や英語遊び、習字、礼儀作法、ダンス、知育教育を行い、5歳児クラスでは鼓隊を編成しています。開所当時から地域との交流を大切にしています。初午やお正月の獅子舞、節分など地域に根付いた行事もあります。子どもたちは地域の伝統行事に積極的に参加するなど、体力や感性を育てる保育をしています。触れ合い保育として園内での異年齢児交流や地域の小学校児童、中・高生と園児の交流もあります。「綱島一、二丁目寿齢会」「尚花愛児園ゴールドリズム教室」の高齢者の方との交流、尚花愛児園後援会主催行事への参加、尚花愛児園独自のテーマを持った保育としてつばめの観察『尚花愛児園のつばめ』（4歳児）、『綱島の民俗と伝承の保育』（0～5歳児）、水の保育『小さな水の旅』（1～5歳児）も行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年6月9日（契約日）～ 2023年3月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（ 2017 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆地域の方との多くの触れ合いが子どもたちを大きく成長させています

園では一人ひとりの子どもたちとていねいに向き合い、地域の方とのさまざまな触れ合いや多くの体験の場を提供しています。地域のお寺や神社、町内会の方たちに見守られ日本の伝統的な行事に参加しています。3～5歳児クラスではさまざまなプログラムを組んでおり、専門の講師による英語と体操教室、ダンス、習字の実施、5歳児クラスでは、礼儀作法と鼓隊の練習もします。運動会、節分、七夕、クリスマス、餅つきなど季節ごとの行事のほか、移動動物園や移動水族館、地域の伝統的な獅子舞や節分の行事などへの参加や高齢者グループとの交流もあります。このようなさまざまな体験により、子どもたちの社会性や豊かな心をはぐくんでいます。

◆キャリアパスに期待する職員像を示し、職員間で共有しています

当園では「キャリアパスモデル」を設定しており、階層別に期待する職員像を示しています。階層ごとに「求められる役割と責任」「求められる業務」「専門的な知識・技術」「能力」「取り組み姿勢」を示し、職員の間で共有しています。園ではこれを踏まえて年間研修計画を作成し、園内研修の開催のほか、職員を外部研修に派遣し、個々の職員の職業能力の開発を支援しています。個々の職員が能力開発の目標を設定し、それを園で支援する仕組みがあると、キャリアパスがより効果的に仕組みとして機能します。今後は、個々の職員の目標管理の仕組みを検討されてはいかがでしょうか。今後の検討を期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

此度の第三者評価の受審を経て、当園職員にて改めて保育・運営に関する振り返りや確認を行うことができました。

また、保護者の皆様の貴重なご意見を頂戴できました。有難く励みにさせて頂くものや、見直すべき部分といった事柄を、次年度からの保育に活かしてより良い保育を展開していきたいと考えております。

評価調査員の方々、アンケートにご協力いただいた保護者の皆様、お忙しいところご対応を頂き、ありがとうございました。

今後もお子様たちが楽しく・安心して過ごせる環境・体制を整え、保育に邁進してまいります。宜しくお願い申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり